

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告

東京都八王子市立七国小学校

学校の概要（平成15年4月現在）

八王子市立七国小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学級	計	教員数
学級数	3	2	2	2	2	1	2	14	21
児童数	106	68	69	59	59	36	12	409	

1、本年度当初、本校が抱えていた「総合的な学習の時間」の課題

本校は15年度4月に開校した学校であるため、育てたい資質や能力の設定、評価の計画、指導方法や指導体制の計画づくり、各学年のカリキュラムづくりなどを早急に行わなければならなかった。

その際の一番の課題は、教員一人一人が前任校で行ってきた総合的な学習の時間の取り組み方の違いをどのように共通化していくかであった。子ども達の大半が、昨年度まで在籍していたみなみ野小学校が築いた地域の方々との良好な関係を引き継ぎながら、学習指導要領のねらいに合った学習が各学年で展開できるよう、研究授業をとおして全職員の意思統一を図ることに力を入れた。

2、モデル地域としての研究主題を、本校でどのように受け止め、どのような目標設定をしたか。

モデル地域の研究主題

『地域や異校種と連携した「総合的な学習の時間」の取り組みの実践をとおして、「総合的な学習の時間」のねらいを実現するための教育活動の具体的な方策を明らかにする。』を受け

本校の研究仮説を

『地域の人々、園児、生徒、学生、自然とのかかわりを大切に単元の構成、展開の工夫をし、主体的な学びの方向付けをしたり、よさに気付かせたりすることができる支援、評価をしていけば、人や自然にかかわる喜びがもて、学びも広がるだろう。』と設定した。

具体的な方策としては次の2つを考え研究をした。

- ①「総合的な学習の時間」のねらいにそったカリキュラムの連携のあり方
- ②小中高の育てたい力、評価規準の接続のあり方

3、平成15年度の本校の取り組み内容と成果と課題

①「総合的な学習の時間」のねらいにそった単元の連携のあり方

- 1年生・・・地域の老人会、保育園、幼稚園との連携
- 2年生・・・地域の商店との連携 *指導案参照
- 3年生・・・地域人材との連携 地域の施設の利用 *指導案参照
- 4年生・・・地域人材との連携 地域の施設の利用
- 5年生・・・地域人材との連携 中学生 高校生 大学生との連携 地域の施設の利用 *指導案参照
- 6年生・・・高校生との連携

夏休みパソコン教室・・・小・中・高の連携

②小中高の育てたい力、評価規準の接続のあり方

本校の生活科、「総合的な学習の時間」で育てたい力、評価規準の作成
 中学、高校との接続

成果

- ・地域、異校種との連携の単元の指導計画の作成ができた。
- ・中学、高校への接続を視野に入れた育てたい力、評価の観点、評価基準の作成ができた。

課題

- ・作成した単元計画の、授業をとおしての検証
- ・評価の観点、評価規準、授業をとおしての検証
- ・「総合的な学習の時間」特に地域、異校種との連携で育った力の検証
- ・中学、高校の先生方との打ち合わせの時間の確保
- ・高校生の移動にかかるお金の捻出

4、本年度の課題を踏まえた、平成16年度の取り組みの予定

- ・中学・高校とのよりスムーズな連携のための、単元の指導計画の作成、実施
 - ・育てたい力、評価の観点、評価規準、達成した子どもの姿、支援についての小、中、高の接続のあり方の研究
 - ・育った力の検証
- 全体計画作成の視点
- ・地域、異校種との連携のあり方
 - ・「総合的な学習の時間」のねらいを実現するための、指導計画、評価、支援のあり方

●子どもの実態
 ・素直で伸びのびとしている
 ・相手の気持ちを気遣ったり、自分の思いを効果的に伝えたりすることが苦手な様子が見られる
 ・人とかわかることには積極的である。
 ●教師の願い
 ・地域の人とのかかわりをとおして、疑問や課題を見つけ、追究させたり自己の生き方を考えさせたりしたい
 ・人とかわかることの楽しさや、よさを味わわせたい

●学校の教育目標
 自分を伸ばします
 進んで学びます
 心をみがきます
 体をきたえます

○総合的な学習の時間のねらい(学習指導要領)
 (1)自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること
 (2)学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること
 (3)各教科、道徳及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、それらを学習や生活に生かし、総合的に働くようにすること

全校での共通理解事項

◎学校全体での取り組み
 ・地域の人や自然とかかわりながら追究する活動を全学年で実施する
 ・情報教育スキル年間計画に従い各学年でパソコンに慣れ親しむ時間を設ける
 ・外国の人とコミュニケーションをしてみようという意欲を育てるために英語活動の時間を設ける
 ○学年での取り組み
 ・体験的な学習を重視するとともに、情報の取捨選択・整理の時間を設け、学び方やものの考え方を身に付けさせる

本校の総合的な学習の目標

○地域の人や自然とかかわりの中から課題を見つけ、主体的に判断しよりよく活動できる子の育成
 ○地域によさに気づき、さらに、自己の生き方が考えられる子の育成
 ○各教科や総合的な学習の時間に身に付けた知識や技能を生かして学べる子の育成

学年の目標

3年	4年	5年	6年
自分たちの周りの人や自然に働きかけることにより学ぶ力を育てる	人・社会・自然に主体的にかかわり、その中から課題を見つけ、目的に合った方法で追究する力を育てる	自ら課題を見つけ、人・自然・社会に主体的にかかわりながら見通しをもって計画的に追究できる力を育てる	課題追究の目的にあった方法を選び、且つ、試行錯誤の中で計画の軌道修正をしながら、人・自然・社会に主体的にかかわり、追究する力を育てる

めざす授業像

○地域の人・自然・社会と直接的なかわりを大切にすること
 ○体験的な活動を重視し、その中で問題解決的な学習が体験できるようにすること
 ○インターネットでの情報収集、プレゼンテーションなどの情報発信の方法の一つとしてパソコンを活用させる
 ○国際理解の幅を広げるための方法の一つとして英語活動をする
 ○小・中・高の連携や関係施設との連携を保ち最大限に活用する

内容・単元

	3年	4年	5年	6年
1学期	七国まるごと発見【環境・福祉】(70) 七国のいいところを見つけよう ・気に入ったところの報告会をしよう	コミュニケーションタイム【国際】(10) 外国の人とお話しよう あきましよう インタビューをしよう	環境について考えよう!【環境】(20) レッツ!ディベート 立論を立てよう 反駁をしよう 取材をしよう 試合をしよう	七国エコ計画【環境・国際】(50) 七国グリーンマップを作ろう 比べようグリーンマップで(他の地域・外国)
2学期	・町をつくった人昔を知っている 人の話を聞こう 七国のいいところを伝えよう ・課題をつくらう ・発信しなう ・発信しよう	伝えよう広げよう 日本の竹文化【環境】(70) (1)竹むすびなう (2)竹名人なう ・名人を捜そう ・名人に聞こう ・名人に教えて	知ろう 伝えよう! 七国 みなみ野【環境・福祉】(70) 課題をつくらう ウォッチングをしよう ウェブマップをつくらう	私たちにできるエコ計画 私たちにできる国際協力【国際】(40) ・JICAのフェスティバルに参加しよう
3学期	僕らは環境探検隊【環境】(20) 課題をつくらう ウォッチングをしよう 計画を立てよう 調べよう 取材をしよう 発信しよう	もらいづつみよう (3)世界の竹文化を知ろう (4)竹文化を見直そう 世界へGO!(10)	計画を立てよう 調べよう 取材をしよう 情報の整理をしよう まとめよう 発信しよう	・JICAの活動を学ぼう ・世界に目を向けて! 私たちができる国際協力

関係機関との連携

七国中学校
 第二商業高等学校
 都市基盤整備公団
 みなみ野野館
 自然塾
 みどりの会
 老人会
 東京家政学院大学
 子育て相談センター
 地域の商店・企業
 保育園・幼稚園
 医療機関
 民間企業
 民間団体
 NPO
 PTA関係

内容・単元の関連

【国語】
 ・読心や書かた開K(3年)
 ・相手の意見や考えを聞き(5・6年)
 ・相手や目的に応じ、筋道を立てて話す(3・4年)
 ・目的や意図に応じ的確に話す(5・6年)
 ・立場を決めて討論(5・6年)
 ・環境に関する作文(5・6年)
 【社会】
 ・地域調べ(3年)・受けつがれた技を生かして(4年)・森林資源を守る環境と公害(5年) 政治の働き(6年)
 【理科】
 ・生物の成長(3年)・植物の成長と環境条件(4年)・生物の誕生(5年) 生物とその環境(6年)
 【図工】
 ・地域の素材を生かして作る
 ・スペースを生かした作品の展示と鑑賞
 【家庭】
 ・健康な生活・家族の役割

特別活動・学校行事、道徳との関連

【学校行事】
 5月
 ・小中合同オリエンテーリング
 中学生と交流しながら地域を知る
 5月
 ・小中合同運動会
 地域の方参加し、小中合同運動会を行う
 8月
 ・パソコン教室
 高校パソコンの操作方法を教わろう
 9月
 ・草取り集会
 老人会の方と一緒に草取りをする
 【道徳】
 ・郷土の文化や生活に親しむ(12年)
 ・郷土の文化と伝統を大切に
 ・郷土を大切に(34年)
 ・郷土や我が国の文化と伝統を大切に(56年)

評価規準

観点	3・4年	5・6年
かかわり	相談したり話し合ったりしながら課題を見つけ、いろいろな人に教えてもらいながら学習を進めることができる 調べたことや考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりすることができる	周りの人と相談しながら課題を明確にすることができる 実際に触れ合ったり、自分で確かめたりしながら調べることができる 調べたこと・考えたこと・発表内容にそった意見交流をすることができる
思考・判断	課題を見つけ大まかな見通しをもつことができる よりよい活動の仕方を選べる 調べたものの中から必要なものを選ぶことができる 調べた情報を整理し、自分の考えをまとめることができる	テーマにそった課題を見つけ、問題解決までの道筋を見通し、計画を立てることができる 調べたことの中から必要な情報は何かを考え、取捨選択をすることができる 根拠を示しながら自分の考えをまとめることができる
表現	発信の方法を考えながら課題を設定することができる 調べたことを相手に分かりやすく伝えられるようにまとめておくことができる 調べたことの内容や自分の考えを相手に応じて工夫して伝えることができる	広め方のイメージをもって課題を設定することができる 集めた情報を効果的に活用し、自分の考えが表せるように工夫してまとめておくことができる 調べた内容を分析し、誰に伝えたいか決め、相手や内容に応じた表現方法で伝えることができる
気付き	自分の身のまわりに疑問に思うことや調べたいことがあることに気付く 活動のよさに気付く 活動したことをふり振り返りながら自分の成長に気付く(各単元で詳しく設定)	テーマについて新たな疑問をもち、追究したいことがあることに気付く 活動のよさ・自分の成長に気付く(各単元で詳しく設定)

教科との関連(重点のみ)

育てたい資質・能力の関連
 【国語】
 ・相手や内容に応じ、調べたことなどについての的確に話す
 ・内容や要旨を考えて整理して文章に表す
 ・相手や目的に応じて表現方法を工夫する
 【社会】
 ・観察調査を行い、地図や絵地図を効果的に活用する
 ・地域の一員としての自覚や地域に対する愛情を持つ
 ・国際社会における役割を理解し、国を愛する心を育てる
 【算数】
 ・見通しをもち、筋道を立てて考える
 ・調べたことを表やグラフにまとめる
 【理科】
 ・見通しをもち、観察や実験を行う
 ・比較・関係付けなどをし、考える

学習段階 ㊦ つかむ ㊦ むかう ㊦ 生かす